和歌山県暖地園芸センターは昭和62年の開設以来、県内産地の花卉産業の振興を目指し、バラやスターチスなどの花材やエンドウの栽培技術開発、バイオテクノロジー利用によるオリジナル品種育成を重点に試験研究を実施してまいりました。

近年は、早生系のエンドウ新品種「和の舞」の産地化を目指した栽培技術の検討、花材新品种としてデルフィニウムやハイブリッドユリなどの栽培法確立と産地への普及推進、新しい流通法として定着しつつあるパケット輸送におけるバラ、シュッコンカスミソウの品質保持技術開発などに取り組んでおります。

また、オリジナル品種開発では、スターチス白色系統と黄色系統の2品種の品種登録申請、スイートピー薄紅色系統1品種の品種登録がなされ、産地化を図るための栽培法の検討、関係機関との評価調査の調整を通じております。

今後は、育成した品種などの県内産地への普及と定着のための栽培法の確立、生産現場に役立つ幅広い技術や品種に関する情報の提供に努め、産地と共に歩む試験研究機関を目指します。